

かつて、郷土の空を守った戦闘機、ここに再現。

(寄贈を受けた 97 式戦闘機 (縮尺 1/6) と風防ガラス (実物) の展示を開始します。)

主催	加古川市
日時	令和3年6月29日(火) 午前11時30分から
場所	新館10階 展示・展望ロビーにて
内容	昭和12年から終戦までの期間、加古川には飛行場が存在し、昭和13年には、当時の新鋭機であった「97式戦闘機」が配備され、終戦までの7年間、郷土の空を飛び続けました。 このたび、加西市にお住まいの三宅常夫氏が縮尺6分の1で製作された「97式戦闘機」を、同氏のご好意から寄贈を受けることとなりました。 また、高砂市にお住まいの上谷昭夫氏からは「97式戦闘機」に実際に使用されていた「風防ガラス」をご寄贈いただきました。 今後は、この「97式戦闘機」と「風防ガラス」を10階の展示・展望ロビーにて一般公開することとしました。 ※ 当日は市長から寄贈者に感謝状を贈呈します。 (☐初めて ☐恒例 ☒回目)
対象(参加者)	市長、三宅常夫氏、上谷昭夫氏
定員	なし
参加費	無料
申込先・方法	不要
目的・背景 その他	「本市の平和事業の推進のため」ということでご寄贈いただいたこれらの物品を10階展示・展望ロビーにおいて公開することで、この加古川の地にも戦争の歴史や現在の平和の礎を築いた人々が存在していたことを少しでも多くの方に知ってもらい、平和について考える一つのきっかけにしたいと考えています。
市ホームページ	掲載済み ・ ☐ 掲載予定(7月頃) ☐ 掲載しない
広報かこがわ	☒ 月号に掲載 ・ ☒ 月号に掲載予定 ・ ☐ 現時点では未定

